



沈
ん
だ
サ
ナ
ナ



お前が
銀時^{さん}だろ



先生が、面倒
見てやってくれと
おっしゃるからな

仕方ねえから
ダチになってやる!



この時、俺の

「運命」がやってきた



高杉センセー!!

保健室

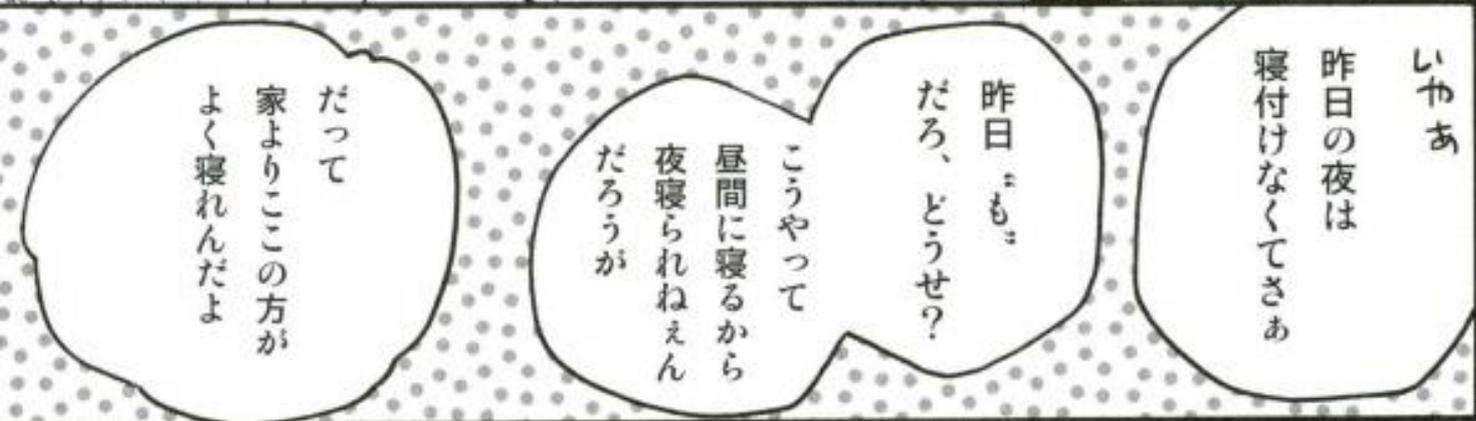
カ
ラ
ラ



ムリは仮眠室
ねえぞ

教師が堂々と
サボりに来てんじや
ねえよ

ちよおつと
寝さしてくんね?



いやあ
昨日の夜は
寝付けなくてさあ

昨日も
だろ、どうせ?

こうやって
昼間に寝るから
夜寝られねえん
だろうが

だって
家よりこの方が
よく寝れんだよ



いつかバレても
俺ア知らぬ存ぜぬの
無関係を通すからな

はあ

サンキユ

俺、お前のそういうトコ
好きだぜ？

ハッ
くだらねえ事
言ってるな
さっさと寝なア

仕事の
邪魔だ

下らないなんて
失礼だなー
本気で言ってるのに

なおさら
気色悪いから
ヤメロ

へへへへ

銀時



ンなに寝つき
悪いなら
薬ですか？



…は？



ちゃんと休めてねえ
証拠だ



目の下に
隈

顔色も良くねえな
この頃



…さすがお医者さま
よく見てンのかな

大丈夫だ
薬出す程じゃない

そうかよ
…まあいい

それよりお前
今日うちに
来んのか

え？
いいのか？

今日は金曜だぜ？
お前確か今日は午後から
実家の病院に顔だすって
言っただけじゃなかったっけ？

ああ。

病院には寄るが
実家には泊まらねえ

帰る

…そっか

なら、行く

わかった



おんてっ

何でっ

どうして私っ
子供なんて産んでしまったの

落ち着きなさい!

なんでえ...

この子の前で
なんてことを...

子供なんて
欲しくなかったのに!

だっ
だっ

どうかこの子は……
この子には一生

『運命の相手』と
めぐり合うことが
無いように

一生に一度の恋なんて
この子には必要ないの

お前に
恋は

いらぬいのよ

ハヤ

ごめん…
なごら…

ト
ン
ク
ン
ク
ン

おー
おかえり

夕飯は？

ああ

食ってきた

そっか

じゃあ今日残ってる
やつは明日食うだろ？

金目が安かったからさ
煮つけにしたんだよ

味噌汁と迷ったん
だけど、煮つけに
しといて良かったわ







！……ええ？



この家の鍵……

やっば
テメエのも
作るか……

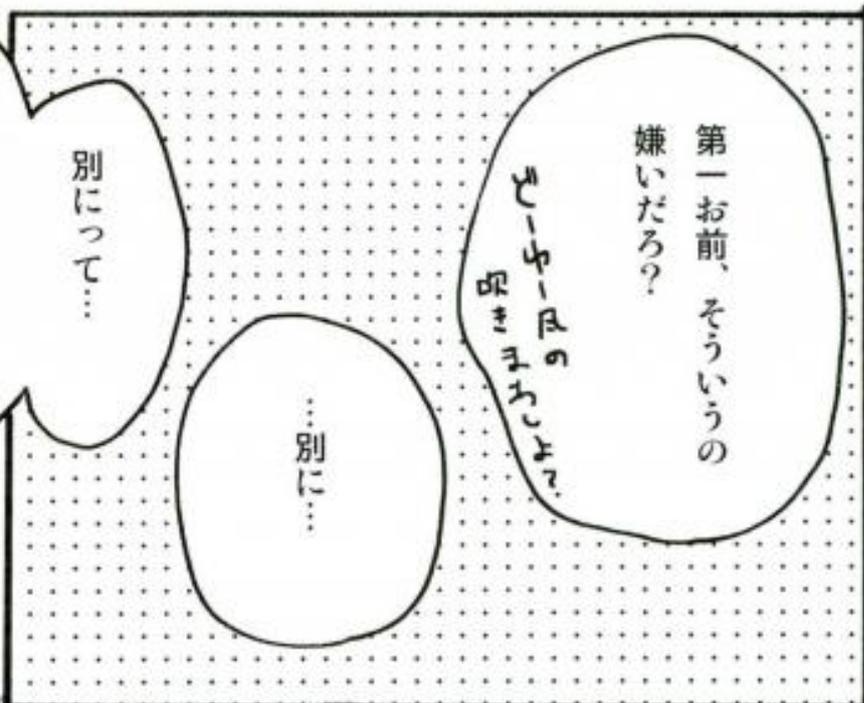


いいよ
いらねえって



別……
つつーか、ダチに
合鍵渡すって
ねーだろ

変だろ



第一お前、そういうの
嫌いだろ？

ルーク・ア
ルキマヨウ

……別に……



ダチ？

こうやって
キスもセックスも
してんのに
ダチかあ？



何だよ高杉？
お前今日
おかしいぜ？



ダチだろ？



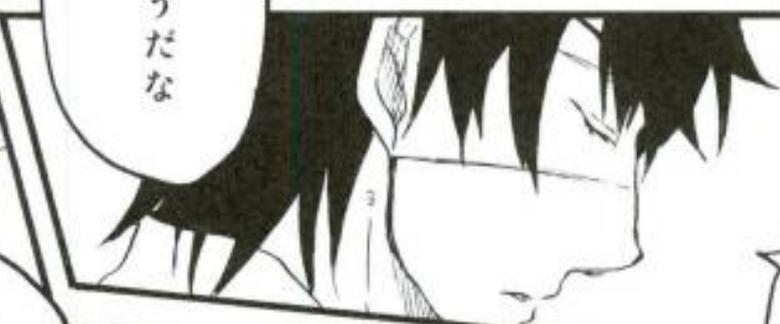
……そうだな



なんかあった
とか？

らしくねーぞ

いや……
少し疲れた
だけだ



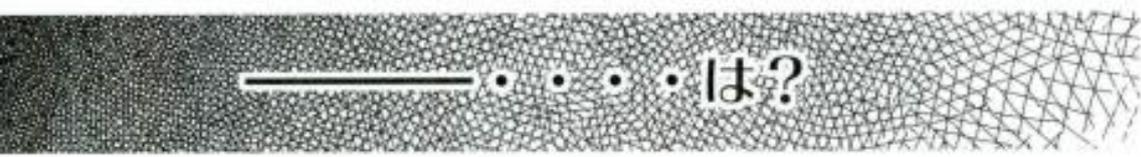
変な事言った
忘れろ

本当にな！





クソ親父が
見合いの話なんぞ
持ってきてやるから…



……は？

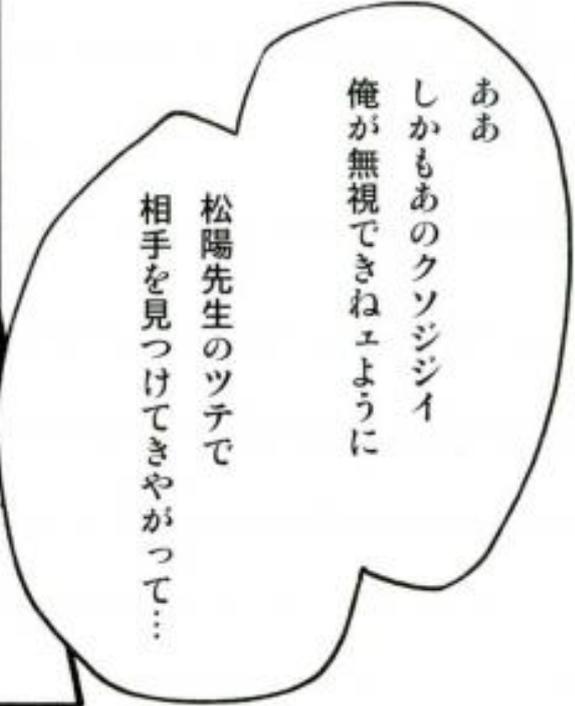


…み…
見合い…？



見合いって…

け…



ああ
しかもあのクソジジイ
俺が無視できねえように
松陽先生のツテで
相手を見つけてきやがって…



結婚…すんの？

しねえよ

今回は先生の顔を
たてて見合いだけは
するが

付き合いは断ると
あらかじめ先生にも
伝えてある

…

先生は俺も了承の上だと
聞かされていたらしいが

——つたく、
ロクな事しねエ
あのクソジジイ

—そう…

でも…相手の人…
先生のツテならきつと

お前には勿体ない位の
良い人かも…

会ったら

気が…
変わるかも…

どうだかな

まあ結婚なんぞ
するともしねえとも
決めてるわけでもねえしな

…そういう
テメーの方はどうなんだ

え？

俺は…
別に…

お前みたいに
良いところの
坊ちゃんでもねえ

する必要が
ねえしな

家柄は
関係ねえだろ

うん

まあ…
でもしない

ふうん…

そうかよ

まあ
この話は止めた
止め

……

高杉

俺はお前の
ダチで良かったと
思ってる

何だ突然

！

……

お前が
結婚しても
しなくても

変わらずに

大事な
ダチだ

……

俺たちの腐れ縁は
そう容易く切れたり
しねえだろ

—ああ…

く

る

し

い

は…



人間に恋をした人魚が
童話の中の人魚姫だけだなんて
誰がいったんだい？



種族をこえた代償は
決して軽くはないよ

その子供、そのまた子供。

ずうつとずうつと
その代償は続くからねエ

夜の水面を照らす
月の光のような白銀



真っ赤な血のような赤

澄んだ水のように
透き通った白

それらは人魚の血が濃ければ濃いほど、多く表れる



いいかい？

よおくお聞き。

人魚は
一生に二人しか
愛せない。

運命の人がね
いるのさ

めぐり合えなければ
五〇も生きられない

巡り合えば

長生きできる

けれどその代りに

もうその人無しでは

生きていけないんだよ

相手の傍に居ないと
そのうち息ができな
なってしまう。

なんて重い、代償だろう——。

なんて重い愛だろう。

先生：
俺の親ってさ

すっげえ仲のいい
夫婦だったんだって

幸せ家族を
絵にかいたような

でも
俺の記憶では

いつも泣いてた
父も母もすごく
苦しそうだった

死ぬまで
ずっと

病気になってからの
父はずーっと母と俺に
謝ってた

残していくことになって
すまないって
泣きながら、死んだ

母も、

泣いて、泣いて

そっからもういよいよ
ダメだった

息ができないと苦しんで、喚いて
そしてやっぱり残されていく俺を憐れんで
泣きながら、死んだ

あんな悲しきしか
残らない…
そんな、呪いみたいなの…

愛し合った結果が
あれだなんて
…あんまりだ



自分の命を背負わす
ような…そんな重いモンを
相手に渡して長生きするより

短くても
笑って息を止められるほうを
選ぶよ

おれは、
友達でいられば
それでいい

そういうのが
いい

息が止まるまで
ずっと傍で
笑ってられる様な



一番近い
友達





銀時…？



高杉っ！
貴様は知って
おったのか！



銀時の事だ!

うるせえぞ
ツラア

ああ?

銀時?
ああ...そういや
昨日も一昨日も
見ねエな

...!

何だ...貴様も
知らなかったか...

何がだよ

銀時の奴:
俺たちに何の相談もなく
辞表を出して田舎に
帰りおったぞ!

—はア?

おいツラア
いつも以上に笑えねエ
冗談じゃねえか

ツラじゃない
桂だ！

笑えないのは当然だ
冗談ではないからな！

…どういふ事だ
そりゃ

俺ア
週末アイツと居たが

何も言ってなつたぞ

貴様にも話さずとは…

携帯も通じんし…
よほど急な事でも…

ババアには
きいたのかよ？

理事長には
すぐに
あつたが…

プライベートなことは
しゃべれんと…

—クソッ

何だっつてんだ

—おれは、友達がいい。

友達なら、ずっとつながってられるだろ？



おや



うん

もうお家の方は
大丈夫なのですか
銀時？



うち
もともと親戚とか
いないし

勝手に色々やって…
あとは遺品整理だけ

そうですか…
今回は急なことで…
大変でしたね



大丈夫ですよ

おばあ様もきつと、
きみに看取ってもらえて
嬉しかったと思います



年寄りのばーちゃん
一人残して上京する
ような薄情な孫だから

最期くらい
きちんとやらないと…
怒られちゃう



おばあ様孝行
しましたね



…だと
良いけど

ばーちゃんには
昔っから心配
ばっかりかけてた
し…



少し
上がっておいきなさいな

丁度おいしいお茶菓子を
頂いたんです





なんか

変な感じ…
俺が、先生、とか
授業は？、って
言うの…

—ふふ



今は君も、
立派に、先生、を
やっていますからね

…立派…じゃ…



こうして…個人的な事で
田舎に逃げ帰ってるような
ダメな…

逃げてきたの
ですか？

俺：
わかって
なかった

全然
わかって
なかったんだ

人を愛するって

結ばれても苦しいなら

結ばれなくても
傍に居られる方が
耐えられるって
思った

けど、ダメだった
甘かった
覚悟が

...

こんなに
苦しい...



この先いつか
アイツが誰かと
結ばれて

家族を築いて
笑ってて

それを友達として
傍で見てるなんて

そんな

惨めな…



耐えられない…!

…その人が、誰かと
結婚する予定があると
言ったのですか？

…今は…

その気はないって…

でも、先の事なんて
分からない



…



君がその人と結ばれようとは思えませんか？



—ダメだよ



だって
あいつ

ムカつくけど
優しいんだ…



もし将来誰か別の人を
好きになったとしても
アイツはきつと俺を見捨て
られない

自分の命をたてにして
アイツを縛るような真似
出来るはずがない…



そんな事には
ならないと



私は思います
けれど…



肩の力を
抜いて

もっと相手の人を
信じておあげなさい

そして自分を
大事にしておあげ

もしも、なんて
そんな事はその時考えれば
良いじゃないですか

君の素直な気持ちを
口にしてごらん

血筋だとかは
抜きにして
もっと単純に

おれ...は...



友達のままでも
息は出来る…

けど

でもやっぱり嫌だ…

他の誰かになんて
譲りたくない…



アイツの
「特別」は

俺がいい

苦しいから
じゃなくて

すきだから

好きで…
好きだから…



怖いーけど

逃げたままじゃ
後悔ばかり抱えたまま
死んじゃう…

泣いて死ぬのは
御免だ

…うまくいくと
信じていますよ

…大丈夫
君は私の自慢の
教え子ですから

男性でもね

女性でも

優しくて強くて
可愛い愛すべき子です

こんな子を
好きにならない訳が
ありません



これで
大丈夫でしょうかね…

あとは君だけが
頼りです…

晋助

どうか—！

どうかあの子を生かして……

はっ
はっ

ちよっと離れた
だけでこれか……

くそ……
やっぱり駄目だな……
息が苦しい……



はっ
はっ

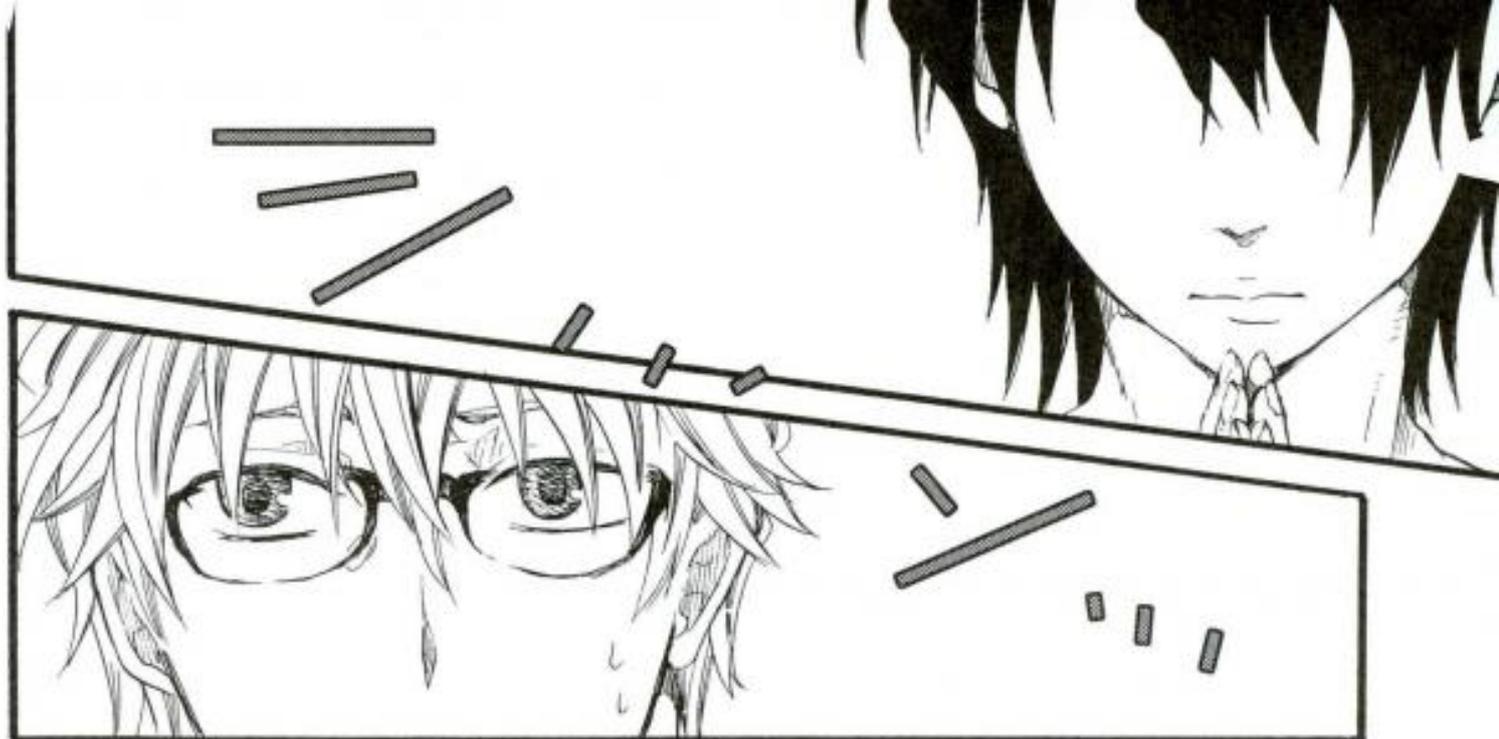
……え

たか……すぎ……?

なんで……









なア、おい
そしたらテメエは
俺に黙って

たかす…

さっさと辞表出して
田舎に引っこんじまい
やがる！

ツ…

ダチって言ったときやテメーは

ずっと俺の傍に居るんじや
無かったのか！

あーあー？！

—っ！

こっちが距離を詰めようとすれば
テメエはスルスル逃げちまう

何を気にしてんのか知らねえが
ダチっつー位置にいりや
テメエは安心してたみてえ
だったしなア？

けど
ダチでもこうして
逃げるってんなら

無理やりにも
掴まえとかにやアなるめえよ

もうテメエの
都合に合わせんのか
止めだ

っ！



お前が何言ってるのか
サッパリわからねーよ！

何言ってるんだよ

...んだよっ

んっ

俺ア
テメエにホレてる
つつつてんだ

銀時

もういいだろ
もう充分
待った





いい加減観念して

俺に落ちろ、銀時



俺…

でも

俺だって…



そんな抽象的な
話じゃねえんだよっ！

一緒なら悪かねエ
そういうもんだろ？

縛りつけるのは
お互い様だろうがよ



俺の想いは



お前を
縛りつけちまう…



おれは…

お前が居なきや
息もできなくなる
本当に、死んじまう

一度でも愛情を
知っちゃったら
もう後戻りできねえ

お前は嫌でも
俺の命まで背負わなきゃ
ならなくなる

そんな…
そんな重いもんを
お前に科すような

上等じゃねえか。

俺の執着を
あんまり
ナメてくれんじや
ねえぞ

25年。

25年だ
テメエに傾倒してからよオ

25年で…

初対面からだ

ガキの…まだ
出会ってから何年も…

馬鹿銀



それすらテメエには
逃げられちまった
けどなア

……

この俺が
テメエに合わせて
ずっと友達止まりだ

もうわかった
だろうが



俺もお前も
もう当の昔から
離れるなんざ
無理な話だ

だから

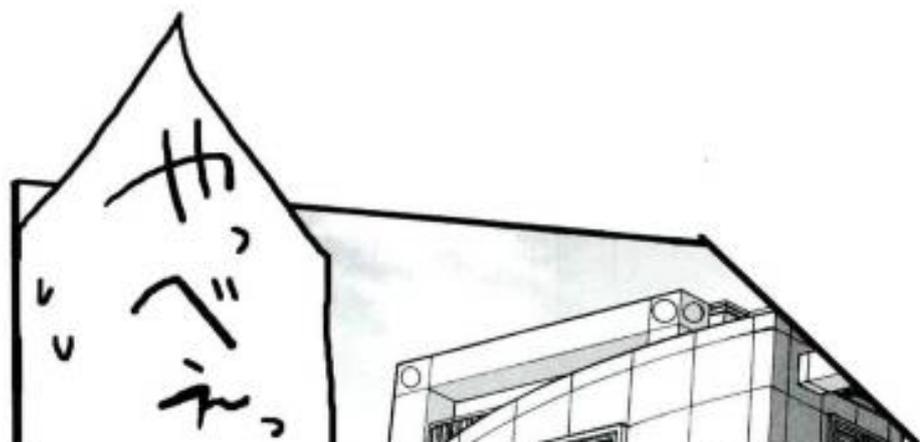
帰ってこい。

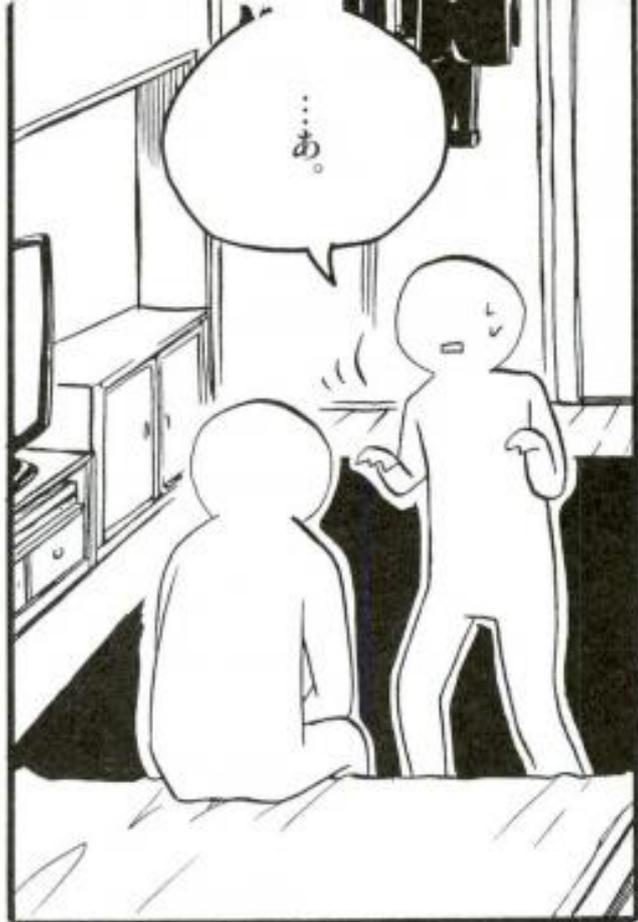
……

—かえりたい



お前のところに
帰る…





テメツ...

今日は創立記念で
休校だろうが

てめえまだ休職ボケが
治ってねエのか

がし

あつ

あつ

あ？！



え
ちよ、

高杉君？

安眠妨害した
報い



きつちり払って
もらおうぜエ…



ひゅっ……
いやっあの！
高杉！タンマ！

悪かった！
俺が悪かったから！
その臨戦態勢はとこう！

間に合わねエなア

あ、

だってまだ
朝っぱら…っ！

んんん

安心しなア
飯くらはいは食わせて
やるからよ

それってメシ以外は
ヤリっぱなしって
こったろーが!

愛されてて
嬉しいなア?

勘弁しろよっ
お前マジでヤリっぱなし
やりかねねえ!

死ね
死ね

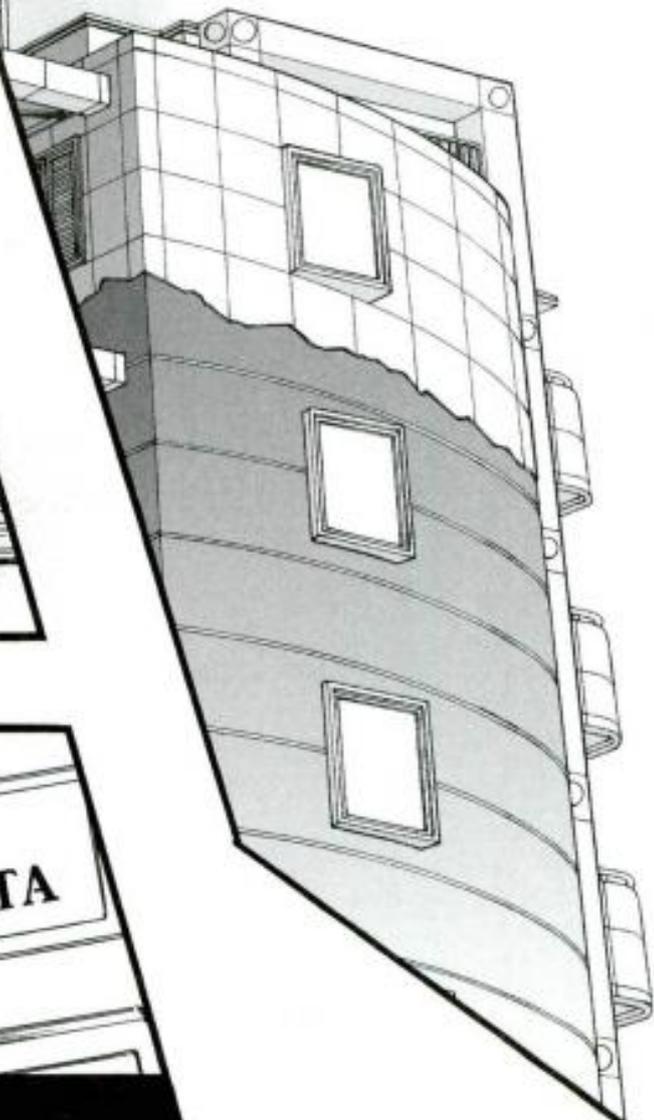
ふはっ
いいじやねえかよ
それで
人魚らしく

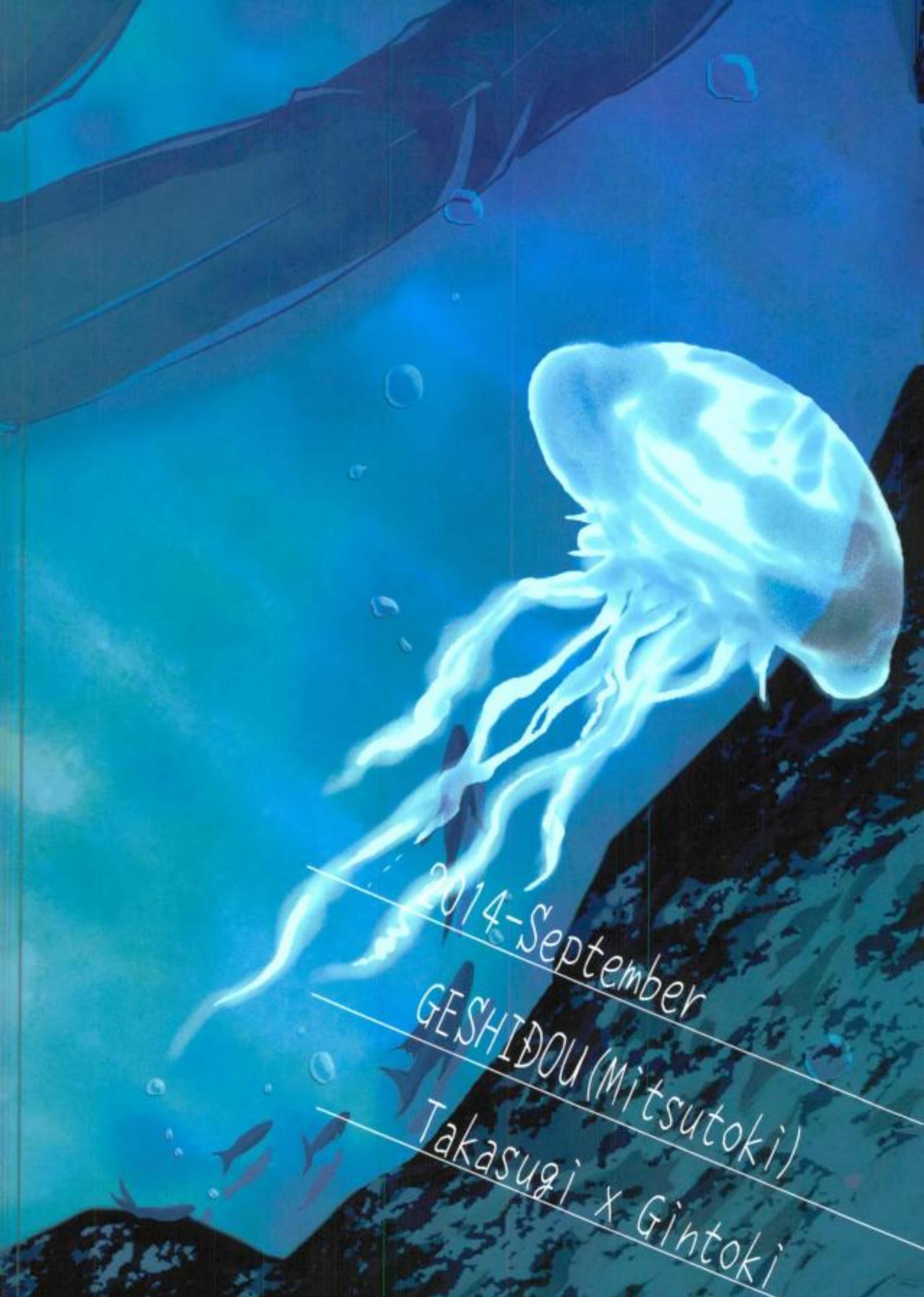
このまま俺に
溺れて
死んじまいなア

1111, #2
1111, #2
1111, #2
1111, #2



609
TAKASUGI / SAKATA





2014-September

GESHIDOU (Mitsutoki)

Takasugi x Gintoki